

平成29年度 学校経営方針

1 学校教育目標

言葉を育て、心を育て、人を育てる

校訓 「健康」「自主」「協同」「信頼」

目指す生徒像

- 感性豊かで、意欲的主体的に学習する生徒
- 健康で明るく、思いやりのある生徒
- 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒

目指す教師像

- 「言葉」を尊重し、「体験」を充実させ、学習指導の工夫・改善に努める教師
- 教育的愛情に満ち、優しさと厳しさのある教師
- 自ら研修に励み、奉仕の精神に満ちた教師
- 生徒や保護者、地域の願いや信頼に応えられる教師

目指す学校像

- 生徒の「言葉」の力を高め、一人一人を大切に作る学校
- 規律があり、明るく元気のある学校
- 安全・安心で、美しく整備された学校
- 生徒や保護者・地域に信頼される、開かれた学校

2 本年度の重点事項

- (1) 「言葉」の力を高め、言語活動を充実させ、学習指導の工夫・改善に努める。
- (2) 生徒の心の内面に根ざした、生徒指導や道徳教育、特別活動を充実させる。
- (3) 家庭や地域、小学校との連携を通して、生徒の「言葉」と「心」を磨き、生きる力をはぐくむ。

3 目標達成のための方策

- (1) 「言葉」の力を高め、言語活動を充実させ、学習指導の工夫・改善に努める。
 - 1時間1時間の授業を大切にし、生徒理解から始まる「教材研究」、生徒の思考を深める「発問づくり」「ノート指導」、生徒の言葉でまとめる「授業のまとめ」「振り返り」(終わり5分の確保)などを重視し、教師一人一人の授業力を高める。
 - 学校全体で共通理解を図り、学年の発達段階に応じた、聞く・話す、話し合う態度や、言語スキルの習得を図り、言葉を大切にする生徒を育てる。(「話し合う活動」と「書く活動」)
- (2) 生徒の心の内面に根ざした、生徒指導や道徳教育、特別活動を充実させる。
 - 「聴く」ことを重視し、いじめ等の早期発見につながる教育相談活動を積極的に推進する。また、生徒指導委員会やケース会議などを通して、共通理解を図り、組織的な指導に努める。
 - 協力体制のとれた道徳、北九州子どもつながりプログラムなどを活用して、生徒の心を耕し、対人スキルの向上を図る。
 - 生徒の変化に気づく教職員の感性や、人権感覚等を磨く校内研修の充実を図る。
- (3) 家庭や地域、小学校との連携を通して、生徒の「言葉」と「心」を磨き、生きる力を育む。
 - PTA総会や地域会議、校長通信などを通して、言葉遣いやあいさつなど、豊かな対話力や人間関係力をつけていくことについての理解と協力を得る。
 - 朝の10分間読書や自学ノートへの協力を通して、家庭や地域と連携して、生徒の言葉と心を磨く。
 - 小学校との連携を通して、いじめ防止や防災意識の向上に努め、生徒の生きる力を育む。

平成29年度 学校経営方針

<学校教育目標> 心を育て、人を育てる

校訓 「健康」「自主」「協同」「信頼」



目指す生徒像

- 感性豊かで、意欲的主体的に学習する生徒
- 健康で明るく、思いやりのある生徒
- 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒

目指す教師像

- 「言葉」を尊重し、「体験」を充実させ、学習指導の工夫・改善に努める教師
- 教育的愛情に満ち、優しさと厳しさのある教師
- 自ら研修に励み、奉仕の精神に満ちた教師
- 生徒や保護者、地域の願いや信頼に応えられる教師

目指す学校像

- 生徒の「言葉」の力を高め、一人一人を大切に作る学校
- 規律があり、明るく元気のある学校
- 安全・安心で、美しく整備された学校
- 生徒や保護者・地域に信頼される、開かれた学校



<重点事項>

- (1) 「言葉」の力を高め、言語活動を充実させ、学習指導の工夫・改善に努める。
- (2) 心の内面に根ざした、生徒指導や道徳教育、特別活動を充実させる。
- (3) 家庭や地域、小学校との連携を通して、生徒の「言葉」と「心」を磨き、生きる力をはぐくむ。

<具体的方策>

生徒指導、道徳教育、特別活動の充実

- ・ 教育相談活動
- ・ キャリア教育、道徳教育、特別活動
- ・ ケース会議
- ・ 人権等の校内研修

学習指導の工夫・改善

- ・ 話し合う活動
- ・ 書く活動
- ・ ノート指導
- ・ 授業力向上のための校内研修

家庭・地域、小学校との連携

- ・ 校長通信等の各種通信
- ・ 学校ホームページ
- ・ 小中一貫連携教育

全校 朝の10分間読書